

## 「ミドルエイジからの地域デビュー ～こども相撲大会～」

南光台おやじの会は、2018年8月に結成されました。地域の為に一役買いたい！との思いから、現在7名の会員が活発に活動しています。結成からわずか1年余りですが、様々な地域の依頼を受けるとともに、主催イベントの企画・運営にも挑みました。そんなおやじ達の姿を少しですが紹介します。

### ＜企画までの歩みや企画会議の様子＞

まずは南光台市民センターで行う定例会で自分たちに何ができるかを話し合い、地域貢献の第一歩として、昨年度、ゴミ拾いをするところから始めました。また、市民センターや小学校行事のサポーター活動にも積極的に参加し、地域で存在をアピールすることに努めました。そのような地道な活動を続けることで、活動開始当初3名だったメンバーは7名になり、地域行事への協力依頼が多く舞い込むようになりました。そこで、活動当初からの目標であった自主企画のイベント開催に向け、準備を進めることになりました。



月に一度の定例会で作戦会議。企画に向けて話し合っています。



南光台小学校運動会。生活学習サポーターとして1年生のお世話をしています。

### ＜解決しようと思った「地域課題」とそれに対する「想いや願い」＞

#### 「こども相撲大会」

これまでの経験から、自然と子どもを対象とした催しの企画となりました。「現代の子どもは、相撲のように体をぶつけ合う経験はほぼなく、相手の“痛み”を知る機会が少ないのではないか。」「ゲームばかりで体を動かす遊びが減っている。」こどもたちの近くで活動してきたことでそのように感じることもありました。地域のこどもたちが力強く、人に優しく育て欲しい、そんな想いを込めてこども相撲大会の開催に至りました。



### ＜企画を実施して感じた企画員や職員の成長や気づき、学びなど＞

主催した小学生対象の「こども相撲大会」は小学校6校から21名の参加があり、これを無事成功させ自信を深めることができました。

また、当日お手伝いいただいた体育振興会・生活学校等、地域には協力的な方々が多くいるということがわかりました。

これからの活動においても、おやじの会単独の活動だけではなく、様々な団体と協働して活動の幅を広げていくことが重要だと感じました。



こども相撲大会では地域の方々にお手伝いをいただきました。



一生懸命に取り組む小学生に、たくさんの声援が送られました。



### ＜今後地域で活動してみたいこと＞

まずは今年度の活動を継続することです。地域でのおやじの会の存在感は日に日に増しています。その中で、会員を増やし、協力いただける方を増やすことが当面の目標となります。ゆくゆくは、子どもを対象とした学校キャンプや野外活動など、おやじにしかできない事を計画していきたいと考えています。地域の縁の下を支えられる存在になるまで、南光台おやじの会は走り続けます！